



発行 NPO法人まほうのらんぷ  
連絡先 豊田市上原町上原6-7  
TEL 0565-42-2221



ホームページ <http://mahounolamp.gozaru.jp/>  
ブログ <http://mahoulamp.booo-log.com/>

## ネットワークを活かした仕事づくり 『こだわり米粉ケーキ』誕生!!

地域活動支援センターはたらくばで新たな仕事を作るため様々な行動をしています。今回はネットワークを活かした仕事づくりとして、無農薬の米や野菜を栽培する『みどりの里』のお米を米粉にする仕事、そして米粉を加工して米粉ケーキにする仕事ができあがりました。これは豊田高専の加藤先生を通じて、夢農人さんと出会い試験的に行った事業ですが、新たな仕事の作り方を学ぶことができました。現在は無農薬のイチゴを販売するときの緩衝材やシール貼りの仕事もいただき、スタッフたちも喜んで取り組んでいます。米粉ケーキは身体に優しい食材のみを使用した、もっちり、しっとりとしたケーキです。皆様ぜひご賞味ください。

中 日 第 期 2011年(平成23年)12月21日(水曜日)



# 米粉ケーキ 召し上がれ

知的障害者を雇用している豊田市上原町のカフェ「Musu・B (ムスビ)」で、自然栽培の米粉を使ったシフォンケーキがメニューに加わった。地元農家の「米から加工品を作りたい」という思いと、カフェを運営するNPO法人「まほうのらんぷ」の「障害者に新たな仕事を」という思いが重なって生まれた「見聞」。(川原田喜子)

### 知的障害者らのカフェ「豊田」

まほうのらんぷは交流のあるNPO法人「ほっとーむよっ」といってんが豊田市西山町に新築したデイサービス施設内に五月、障害者の作業場を確保。「地元で無農薬に育てられたお米を加工して米粉にするのは、夢農人に相談した。米の加工を依頼したのは、夢農人のメンバーで農業生産法人「みどりの里」を経営する野中慎吾さん。同市四郷町で農業と肥料を使わない自然栽培を行っており、加工品の生産も手がけようと米粉をひく機械を購入したが、農作業で手が回らないまま倉庫に眠っていた。

野中さんが九月末から規格外の米を提供。Musu・Bの障害者八人が機械で粉にして、スタッフとともにケーキを作っている。野中さんは「農園の米で良い商品を作ってもらえた。障害者との連携を他の農家にも広げたい」と喜び、まほうのらんぷの谷沢理事は「この先も地域の人助け合いながら作り上げる仕事を続けたい」と話す。

もう一つは「こだわり米粉ケーキ」は飲み物付き五円。予約をすれば一個百円で持ち帰ることもできる。米粉は、スーパー「やまのふ梅坪店」で二百五十円で販売している。Musu・B(日曜定休) | 電0565-42-2221

米粉シフォンケーキを平にするMusu・Bの従業員＝豊田市上原町で

NPO法人まほうのらんぷは、まずは障がい者の『働きたい』を応援します。次に親が高齢になっても安心して生活ができるように、ケアホームなどの設立に向けて活動を展開します。そして、障がいの有無に関わらず、子どもからお年寄りまでが住みなれた地域で生活できるように、暮らしやすいまちづくりを目指しています。

豊田市市民活動促進補助金を活用し

## 目標達成力強化研修を行いました。

1月22日、とよた市民活動センターにて目標達成力強化研修を行いました。障がいのある方たちの生活支援を行うと共に、働く場などの運営をしていくためには、職員が目標達成力をつけていないと継続して事業として成り立ちません。そして今後、事業化を目指す福祉系NPOや親の会からの相談にのりながら、その活動・事業を伴走的に支援をしていくことも私たちがすべき仕事であり、その仕事にも目標達成力が必要となるという思いから豊田市市民活動促進補助金を活用し研修を行いました。

原田教育研究所の森行秀和さんをお招きし『自立型人間への変容』『目的・目標設定用紙の作成』など、みっちり8時間の研修でした。しかしあっという間に時間が過ぎていき、終了時には参加者の仕事へのモチベーションも上がり、そして行動計画が明確になった様子で大変有意義な研修でした。



午前中は講師より「自立型人間とはどのような人なのか、そして自立型組織とはどのような組織なのか」をわかりやすく教えていただきました。

福祉業界はコミュニケーションが取れているが、ルールの徹底が甘いこと。

また、変えることのできない過去を考えて動くのではなく、未来を考えて行動計画を立てること、そして小さな問題にも対処することの重要性を学びました。

午後は目的・目標設定用紙を基に、目的・目標の立て方、そして実現に向けての行動計画の立て方、成功への技術を学びました。終了時にはそれぞれ目的・目標設定用紙が完成し、明日から何をするか、どのように行動するかが明確になった様子でした。また「決めたことを継続する力」と「目標に直結した行動を取り続ける」ことを学び、気持ちが新たになりました。



### 《参加者感想》

今回の研修を受けて、自分を変えるために自身をしっかり分析して把握しなければならないとわかりました。自身の目標達成できるときの行動パターンや心理状態を掴み、それを続けることが目標達成に近づくことになるのだということがわかりました。目標達成したとき、そうでないとき共に、常に行動を振り返り、それぞれの原因を分析する必要があります。意識し続けることは難しいが、その分析をすることが、常に最高のコンディションで仕事ができ、生活が送ることができるため、振り返りをするを意識して、仕事をしていきたいと思えます。

(森山尚登)

NPO法人まほうのらんぷは、豊田市市民活動促進補助金、平成23年度新規事業チャレンジ部門の補助団体です。

豊田市市民活動促進補助金とは豊田市の市民活動団体で、身近な地域課題や多様化する課題など、新しい課題に挑戦する団体が対象です。補助金は、新規事業の準備や実施に要する事業経費に充てることができます。窓口はとよた市民活動センターです。

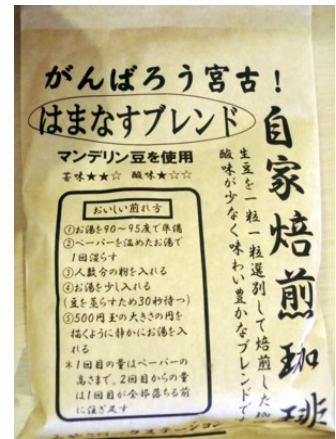
**好評販売中!!**



仙台のご当地グルメ  
あぶら麩 **400円**



東北の米「ひとめぼれ」使用  
塩ごまボン・えびぼん **各400円**



酸味が少ない豊かなブレンド  
自家焙煎珈琲 **450円**



とってもキュートなイラスト  
ポストカード **100円**



各事業所オリジナルクッキー  
**100円~300円**



青森産りんご ストレート果汁  
りんごジュース **1本150円**



まゆだまで作ったかわいいだるま  
復興だるま **1個600円**



米袋を加工した素敵な小物  
クラフトパーツ  
かざぐるま **各種100円**

その他、焼きドーナツ、さをりストラップなど様々な商品を取り揃えています。また交流館祭や各イベントでの出店の際には、その日限りの限定商品も仕入れながら販売していきます。9月下旬から様々な場所で販売していきますのでよろしくお願いいたします。

10月 2日(日) 上郷交流館祭  
10月16日(日) 藤岡ボランティアまつり  
10月22日(土) とよた市民活動センター10周年記念イベント  
10月30日(日) オンリーワンイベント  
前林交流館祭  
さくらの杜イベント

11月 6日(日) 梅坪台交流館祭  
11月19日(土) 豊田養護学校  
20日(日) 豊田養護学校  
12月11日(日) 福祉健康フェスティバル

**頑張る仲間を応援したい!!**

## **Café Musu, B チャリティフェア第3弾を開催します。**

「わくわき、いきいき、はたらく場」をキャッチフレーズに、今年4月に豊田市松平地域に重度心身障がい者のデイサービスを開設するNPO法人ワーワーを応援するためにチャリティフェアを開催します。

**期 間 平成24年2月20日（月）～3月3日（金）**  
**（日曜日は休みです）**

**時 間 11時30分～18時（ラストオーダー17時00分）**

**内 容 期間中の売上げの一部は、ワーワーさんのデイサービスづくりの活動に寄付されるほか、カフェではワーワーさんの活動PRなどを企画しています。**

NPO法人ワーワーさんは

12年前に、人との「話」、地域との「輪」、仲間との「和」を大切に始まった障がい児の親が中心となった会です。医療的ケアやマンツーマン支援が必要な方たちでも「仕事」や「働く」ことのできる場所、地域の人が気軽に立ち寄れる場所を作りたいという思いで活動をしている団体です。



## **賛助会員さんを募集してます！**

賛助会費が運営には不可欠です。賛助会員に入会しご支援ください。会員様には広報紙など活動内容を随時お伝えします。

■ **年会費1口 1,000円（何口でも構いません）**

**振込先 豊田信用金庫 本店営業部 普通口座 9045785**

**特定非営利活動法人まほうのらんぷ 理事 谷澤 雄樹**

**（とくていひえいりかつどうほうじん まほうのらんぷ りじ たにざわ ゆうき）**

この用紙はジャスコ豊田店のイエローレシートキャンペーンでいただいたものです。

NPO法人まほうのらんぷは、イオン幸せのイエローレシートキャンペーンをジャスコ豊田店で参加しています。毎月11日に発行される黄色いレシートは、ぜひまほうのらんぷのBOXにお願いします。